

調 査 ・ 研 修 報 告 書 (会派個人用)

会派名： 清 風

報告者：赤木忠徳

実施場所：定住・移住・観光の極意を学ぶ
北海道ニセコ町

実施日：平成 29 年 7 月 14 日

■ 目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など）

地方の市町村では、少子高齢化の人口減少が問題になっている。こういった、社会現象に反して、ニセコ町は北海道の中でも、「たぬき」や「りす」が出るような「田舎」で、ここ 15 年以上、少しずつ人口が増加している驚異的な町。ニセコ町の 5 年ごとの人口の推移を具体的に見てみると、2000 年の人口：4553 人、2005 年の人口：4669 人、2010 年の人口：4827 人、2015 年の人口：4886 人（6 月末）というように、日本国内で例外的に人口が増えている。地域の例としては、地方の田舎町というイメージがある、ニセコ町の人口がなぜ増えているのか？

■ 参考とすべき事項

ニセコ町企画環境課の 馬淵 淳係長から学んだ。

人口増加の理由は、国内だけではなく、海外からくる外国人の移住者が流入しているからである。人口を増やす移住でなく町づくりを一緒にしたいと強調された。ニセコ町のレストランでは、外国語を話す人たちの賑わいがある、外国人がいるのが当たり前の光景、日本人の目から見ると、カナダのレストランにでもいるかのような雰囲気である。移住者の増加で外国人にとっての就職の門戸も広いのが魅力。結果的に、国際結婚も多くなって、移住につながっている。外国人が増えることにより、外国人正職員やクレア国際交流員（交付税算入）を雇用し、仕事探しや、入社してから企業に溶け込めるよう受け入れるための、準備をしていた。観光で、外国人がニセコを訪れるだけではなく、永住するところまで外国人と親密な関係を作っている環境がニセコ町の魅力である。夏は、カヌーやラフティングなどの自然を生かした、アウトドアスポーツが盛んになっている。アウトドアスポーツは冬に訪れていた外国人（オーストラリア人）の実業家による考案だった。ニセコの良さを発掘してくれたことに、町の寛容さが地域の発展に結びつくのである。



■ 提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など）

補助金などだけで、移住・定住が進むのではなく、町(市)が環境、地域にいかにかきこめるようにフォローするかが、キーのように思われる。景観もバス停、椅子、照明灯など、色を統一（グリーン）していた。ニセコ駅もデザインが素晴らしいが資金的に裕福でない町である為、豪華でない。これが街作りの基本であろう。

※ 調査・研修終了後、一週間以内に会派事務局へ提出してください。

調 査 ・ 研 修 報 告 書 (会派個人用)

会派名： 清 風

報告者：赤木忠徳

実施場所：移住先の環境・施設を学ぶ

北海道の田舎に世界的な会社は何故ショールームを開
設するのか 戦略を学ぶ。

北海道ニセコ町

実施日： 平成 29 年 7 月 15 日

■ 目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など）

昨日馬淵係長からニセコ中央倉庫群 1 周年最大のイベント「ニセコ倉庫邑(むら)2017」が開催される情報を得た。農業倉庫群を舞台としたニセコの魅力がぎゅ〜っと詰まった体験型イベントに訪れた。

行ってよかった道の駅ランキング 2016 全国 3 位のニセコビュープラザにも訪れた。また、視察時ご馳走になったヨーグルトの生産者の高橋 守議長のお店も訪れてお話をお聞きした。その後、昨日話になった、バックヤードスキー場にも足を運んだ。

■ 参考とすべき事項

ニセコ倉庫群邑 2017 は手作り感の詰まった楽しい町民イベント会場であった。

道の駅ニセコビュープラザはニセコ町のまちづくりの手法である住民検討会議により、ゼロから住民が参加して施設の内容など具体的に検討し、当初 7 人の農家でスタートしたが、現在は 65 名、在庫の確認が自動化される「これだすシステム」で効率的に商品補充されていた。何故、ランキング 3 位になれたのか？は接客の素晴らしさであろう。ニセコの中心地のホテルの室内は滞在型になっており、洗濯機、乾燥機、キッチン等設置してあった。地域の観光を盛り上げるには、こうした配慮が必要である。高橋議長にも話を聞くことが出来た。基本的に、常に一緒にまちづくりをやって行く精神は町民の共通の思いである。これまでの反省から建坪率を厳しくし、余裕のある建物作りをしないと環境が守れないとのことであった。バックヤードスキー場についても、ニセコルールを作って許可しているとの事。バックヤードスキー場とは、スキーヤーをヘリコプターやキャタピラーで山頂まで運んで、新雪の山林を滑る人気のスキーであるが、事故が多いので、天候やルートを厳選し許可を与えている。これからの、スキーの未来系であろう。蘭越バックヤードスキー場は、麓野には、国民休暇村の施設があったが、2 年前に温泉施設を改築し町営で運営していた。その他には、施設が無く、自然が雄大であった。ショールームのオープンが工事が遅れていて、プレオープンになった。しかしながら、北洋銀行の支店長、国際企画課役員、東京からマーケティング会社の会長など多くの人がお祝いに来られていた。何故田舎にバイクショップを開店するのか？この感覚は富裕層の外国人を対象にした店舗という事で今後見守って行きたい。しかし、色々な店舗、施設が総合的に相まって地域が発展するのであろう。



■ 提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など）

街作りは、ボトムアップでやっていかないと、いくら素晴らしい施設が出来ようが、地域、観光客に受け入れられない。市民の一人ひとりの関わり努力が必要である。

平成 29 年 7 月 21 日

調 査 ・ 研 修 報 告 書 (会派個人用)

会派名： 清 風

報告者： 竹 内 光 義

実施場所： 定住・移住・観光の極意を学ぶ
北海道ニセコ町

実施日： 平成 29 年 7 月 14 日

■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など）

- ・ 残念ながら人口の減少傾向に歯止めがかからない状況だが、ニセコ町の人口は微増している。
- ・ 町民全体によるまちづくりの実践で【自治創生・住民みんなが町を考え、活動する】地域社会を目指している。北海道の中でも【田舎町】だったが、そうした中で15年間の人口推移は、少しずつ人口が増加している、驚異的な町である。ニセコ町でなぜ人口が増えたのか？検証した。

■参考とすべき事項

- ・ 昼から、ニセコ町企画環境課の、馬淵 淳係長から移住促進対策・観光施策等を視察研修した。移住施策として、【移住希望者向けパンフレットの作成・首都圏における移住相談会への出展・移住体験（ちよっと暮らしの民間宿泊施設）の紹介】など。移住者が増加した。
- ・ 外国人の移住者が増加しているから、ニセコ町のレストランでは、外国語を話す人たちの賑わいがある、外国人がいるのが当たり前の光景であり、日本人から見ると異様な雰囲気かもしれない。移住者の増加で外国人の就職活動があり、結果的には国際結婚も多くなり移住に繋がっている。外国人の正職員やクエア国際交流員を雇用し、仕事探しや、企業へ溶け込めるように準備していた。
- ・ 観光では、外国人がニセコ町を訪問するだけでなく、永住する為の親密な環境整備をしているのが魅力である。

■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など）

- ・ 地方の市・町が、環境整備や地域全体の町づくりを話し合う場・仕組みをつくり、町内外からの、まちづくりの担い手を確保すること。
- ・ 地域の課題を解決する為には、ソーシャルビジネス【地域社会の課題解決に向けて、住民・NPO・企業など、様々な主体が協力しながら、ビジネスの手法を活用して取り組むこと】など、住民自治活動と行政の連携が重要である。

平成 29 年 7 月 21 日

調 査・研 修 報 告 書 (会派個人用)

会派名： 清 風

報告者： 竹 内 光 義

実施場所：定住・移住・観光の極意を学ぶ
北海道の田舎に世界的な会社が何故ショールーム
を開設したか戦略を学ぶ。
北海道ニセコ町

実施日：平成 29 年 7 月 15 日

■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など）

- ・ニセコ町の馬淵係長から、中央倉庫群の 1 周年最大のイベント【ニセコ倉庫邑 (むら) 2017】が開催されるとのことで、現地視察した。農業倉庫群を舞台としたニセコの魅力が体験型で盛り上がっていた。
- ・ニセコ町の駅前に、道の駅ランキング 2016 全国 3 位の【ニセコビュープラザ】も訪問した。又、ニセコ町の視察の時にご馳走になったヨーグルトの生産者である高橋 守議長さんのお店も訪問して、現在までのニセコ町の変革を研修した。そしてバックヤードスキー場も現地視察した。

■参考とすべき事項

道の駅【ニセコビュープラザ】は、ニセコ町のまちづくりの手法である住民検討会議により、ゼロから住民が参加して施設の内容などを具体的に検討していた。当初 7 人の農家でスタートしたが、現在は 65 人。在庫の確認が自動化されている（これだすシステム）で効率的な商品管理をされていた。何故、ランキング 3 位になれたのか？は、接客の素晴らしさである。

ニセコ町の中心地のホテルの室内は滞在型になっており、洗濯機・乾燥機・キッチンが装備されており、地域の観光を盛り上げるには、こうした配慮が重要である。基本的に一緒にまちづくりをする精神は住民の共通の思いである。

バックヤードスキー場についても、ニセコルールを独自で作成して許可されているとの事である。バックヤードスキー場とは、スキーヤをヘリコプターや、キャタピラーで山頂まで運んで、新雪の林を滑る人気の高いスキーであるが、事故が多いので、その対策として天候やルートを厳選し許可を出している。これからの、スキーの未来系であろう。

そして本来の目的であるショールームのオープンは、工事が遅れてプレオープンになっていた。しかし、北洋銀行の支店長、国際企画課役員、東京から会社の社長など、多くの人がお祝いに来られていた。何故田舎にバイクショップを開店するのか？この感覚は富裕層の外国人を対象とした店舗であるということ、見守りたい。この地域では、色々な店舗・施設が総合的に出来て地域が発展している事を研修視察できた。

■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など）

- ・地方の市・町のまちづくりは、地域に素晴らしい施設があっても、ボトムアップでやらないと、地域へ観光客は、受け入れられない。地区ごとに将来像を描きながら、その実現に向かう活動を重ねることで、地域の【住民自治】が根付いていく。

調 査 ・ 研 修 報 告 書 (会派個人用)

会派名： 清 風

報告者：門脇俊照

実施場所：定住・移住・観光の極意を学ぶ 北海道ニセコ町	実施日：平成 29 年 7 月 14 日
<p>■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など）</p> <p>本市を含めた地方自治体の人口減少に歯止めが効かない現状を打破する妙薬が無い か、北海道ニセコ町、ここ 15 年人口増加している町へ視察に行きました。 2000 年の人口 4553 人、2015 年の人口は 4886 人、2017 年 6 月 4915 人で驚異的です。 なぜ人口が増え続けているのかニセコ町役場を訪ね視察してきました。</p>	
<p>■参考とすべき事項</p> <p>近年、ニセコ町の視察はウナギ上りに増え続け視察日は週 2 回。町内宿泊が必要。 研修では企画環境課係長の馬淵 淳さんからお話をお伺いしました。 ニセコ町の基幹産業は農業と観光、冬は役場周辺でも多い年は 2 メートルの積雪があり 暮らしは大変だが魅力にもなっていて、現在は外国から多くの観光客が来町されている。 人口増はスキーなどの観光客がニセコ町に魅力を感じて、移住・定住され、観光客増加 で宿泊、ガイド、飲食などのサービス業に従事する外国人も増加、国際結婚も増えている。 外国人が増えた事により、町職員に外国人を採用し、外国人の就職や悩みの相談にもの っている。ニセコの魅力を外国にダイレクトに発信し誘客されている。 これまでは、スキーなど冬の観光客が多かったが近年は夏のアウトドアスポーツを中心 に楽しむ観光で冬の観光客より多くなっている。 ○ニセコの雰囲気を経験する「ちょっと暮らし」。地元民との交流、お気に入りの場所の発 見、観光では味わえない魅力との出会いをサポートする事業を展開。 ○町と商工会が起業支援のワンストップ窓口を設け、創業における支援体制を作り事業計 画のアドバイスや融資など幅広く相談できる体制ができていました。</p>	
<p>■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など）</p> <p>ニセコ町では、さぞかし移住・定住に力を入れている事とと思っていましたが、行政とし ては職員数も予算額も少なく、本市とさほど変わらない印象でした。 行政は、洋風の駅舎、バス停、街路灯、色の統一感、資金的にも無理のない街づくりを されていました。 ソフト面に於いて住民も永住するところまで親密な関係を作っておられました。 まちづくりは行政・住民より、観光で来られた外国人がニセコの良さを発掘しアイディ アを出し実践されていました。 「地域おこしのヒント」を知る視察でした。</p>	

※ 調査・研修終了後、一週間以内に会派事務局へ提出してください。

平成 29 年 7 月 21 日

調 査・研 修 報 告 書 (会派個人用)

会派名： 清風

報告者： 門脇俊照

実施場所：北海道 ニセコ町	実施日：平成 29 年 7 月 15 日
■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など） <p>ニセコ町の人口増加の取り組みや魅力を深く知るため町に連泊し、昨日説明頂いた人や場所を尋ねました。</p> <p>本市の自然豊かさとニセコ町の自然とどこが違うのか、観光客の増加、移住・定住の増加の要因は何か、外観だけでは分からない魅力の一部ですが、観たり、聞いたりすることが出来ました。</p>	
■参考とすべき事項 <p>○高橋議長訪問 酪農家で乳牛 600 頭を飼育し、牛舎併設の観光施設を運営されており、行政、観光、定住の話をお伺いすることが出来ました。</p> <p>観光・人口増加に影響を与えているのは外国人の実業家や投資家で、観光のみならず、ニセコを投資狙いで、ホテル、土地、山林を売買している人が多い。</p> <p>水利権と建坪率は非常に厳しく指導管理しているとの事でした。</p> <p>○私たちが宿泊したホテルは団体の観光客が多く一般的でしたが、ニセコでも全国的に人気があり有名なホテル内部を見ることが出来ました。外観は期待外れでしたが内部は高級マンション風でセキュリティも万全で仕様はコンドミニアムで滞在型観光に適したホテルでした。安部総理夫妻も宿泊されるそうです。</p> <p>○BMW のショールーム開設の経緯を知りたくて訪問しましたが、工事の遅れでプレオープンでした。外見・内装とも富裕層を意識したデザインでした。本市にも誘致出来ないかオーナーにお願いしてみました。</p> <p>○道の駅ニセコビュープラザ、人気ランキング3位の駅では、65 農家が特産である馬鈴薯・メロン・アスパラ・トマトなどを販売。人気度3位の理由は解明出来ませんでした。女性販売員さんが対応よく商品説明をテキパキとされていました。</p> <p>○バックヤードスキー、他のスキー場では事故率が高いので敬遠されがちですが、ニセコでは独自の天気予報や滑降状況をこまめに発信し B スキーに力を入れておられました。</p>	
■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など） <p>ニセコ町は農業と観光業が主要産業。国内外から多くの観光客が来られます。</p> <p>地域性を活かし、観光客をターゲットにした事業展開のチャンスがあり、飲食店や土産物の起業、冬場はインストラクターなど、季節ごとに仕事を選ぶことができることが、移住・定住に繋がっていると思いました。</p> <p>ニセコ町の主な施設を視察して感じたのは、何処も外国人を意識したものでした。</p> <p>本市に於いても即外国人という訳にはいきませんが、市外の人の意見や知恵を生かす、受け入れる体制作りが急務と感じた視察研修でした。</p>	

※ 調査・研修終了後、一週間以内に会派事務局へ提出してください。